



よるんちょう 議会だより

第105号

2012年／平成24年11月1日

発行 与論町議会
編集 広報常任委員会
〒891-9301

鹿児島県大島郡与論町茶花32-1
TEL&FAX 0997(97)3201



台風なんかには負けるもんか！ トゥンガ モーキャーだ、エイ！エイ！オー！

議長に大田英勝議員を選出

(3P)

議会構成決まる

(3P)

一般質問 6人が登壇！町政を問う

(7P～12P)

★徳田毅衆議院議員、台風被害調査に急きよ来島

★永田けんたろう・禧久伸一郎県議会議員

台風被害調査に急きよ来島

9月
定例会

*紹介：表紙左上のお面は本町の国指定重要無形民俗文化財「与論十五夜踊り」2番組に登場する「朝伊奈」の面です。踊りの場面では、絶対権力者である「うぶすー」(大老)の役で登場します。

一般会計予算は

9216万円追加で 39億7793万円に

平成24年第3回定例会は9月19日に開会し13日間の会期で10月1日に閉会した。
改選に伴い議長に大田英勝議員（61）、副議長に福地元一郎議員（59）が共に指名推薦で選出された。
常任委員や議会運営委員を選出し、監査委員に林隆壽議員（61）が選出された。
提出された議案は、条例1件、補正予算3件、その他1件、決算認定7件、同意1件でそれぞれ原案のとおり可決・認定・同意・承認された。
また、27日の一般質問には、6人の議員が登壇し政策論議が交わされた。

一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ9216万を追加し、総額をそれぞれ

39億7793万円とする。
歳入の主なものは、地方交付税1億103万円の増、県支出金481万円の減などである。

特別会計補正予算

◎与論町国民健康保険
歳入歳出予算の総額にそれぞれ353万円を追加し、総額をそれぞれ9億1874万円とする。

◎与論町後期高齢医療
歳入歳出予算の総額にそれぞれ56万円を追加し、4858万円とする。

歳入

款	補正前の額	補正額	計
町 税	2億9990万円	212万円	3億 203万円
地 方 交 付 税	18億6900万円	1億 103万円	19億7003万円
使用料及び手数料	3400万円	10万円	3410万円
県 支 出 金	2億6597万円	△481万円	2億6115万円
諸 収 入	8514万円	221万円	8736万円
町 債	4億9450万円	△849万円	4億8600万円
歳入合計	38億8576万円	9216万円	39億7793万円

歳出

款	補正前の額	補正額	計
議 会 費	7943万円	21万円	7964万円
総 務 費	4億8861万円	1113万円	4億9975万円
民 生 費	7億7060万円	2674万円	7億9735万円
衛 生 費	4億 739万円	1321万円	4億2060万円
農 林 水 産 業 費	3億8381万円	1125万円	3億9507万円
商 工 費	1億2893万円	525万円	1億3418万円
土 木 費	2億6744万円	760万円	2億7505万円
消 防 費	1億4207万円	93万円	1億4301万円
教 育 費	5億6847万円	1565万円	5億8413万円
諸 支 出 金	106万円	15万円	121万円
歳出合計	38億8576万円	9216万円	39億7793万円

議長に大田英勝議員を選出



議長 大田英勝

議 会 構 成

議 長	副 議 長	監 査 委 員
大 田 英 勝	福 地 元一郎	林 隆 壽

常任委員会（定数5人、広報常任委員会委員は2の委員会に所属）

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
総務厚生文教	麓 才良	高田 豊繁	福地元一郎・林 隆壽・林 敏治
環境経済建設	供利 泰伸	喜山 康三	野口 靖夫・大田 英勝・町 俊策
広 報	喜山 康三	林 隆壽	福地元一郎・供利 泰伸・高田 豊繁

議会運営委員会（定数5人）

委 員 長	副 委 員 長	委 員
野口 靖夫	麓 才良	福地元一郎・供利 泰伸・喜山 康三

沖永良部与論地区広域事務組合議員（定数3人）

供 利 泰 伸	喜 山 康 三	林 敏 治
---------	---------	-------

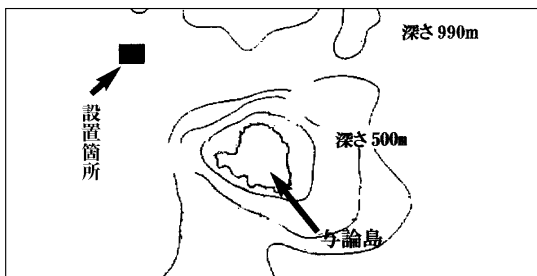
各委員会の所管・所管事務（事項）

総務厚生文教	環境経済建設	広報	議会運営
①総務企画課 ②会計課 ③選挙管理委員会 ④監査委員 ⑤税務課 ⑥町民福祉課 ⑦教育委員会 ⑧他の委員会の所管に属しない事務 ⑨その他議会において特に指定した事務	①環境課 ②産業振興課 ③農業委員会 ④商工観光課 ⑤建設課 ⑥水道課 ⑦その他議会において特に指定した事務	①議会の広報に関する事務	①議会の運営に関する事項 ②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ③議長の諮問に関する事項

採択された陳情



洋上に設置された魚礁



魚礁設置場所(島の北西約15キロメートル)

◎表層魚礁(注1)
緊急設置補助事業につ
いて

陳情者
与論町漁業協同組合
組合長 酒匂 兼峯

採択理由

魚礁の設置は漁家の
生活に直結し、緊急に
善処する必要があるこ
とから賛成多数で採択。

(注1) 表層魚礁
海面に人工物の浮体
を位置させて、回遊魚

が漂流物に集まる習性
を利用して集魚を図る
ものである。

◎イヌパ線(仮称)改
良舗装整備について

陳情者
立長自治公民館
館長 原 栄徳
地権者代表 池畑 喬弘

採択理由

舗装整備が行われて
いないため、悪天候時
には通行ができないこ
とや地域住民の交通安

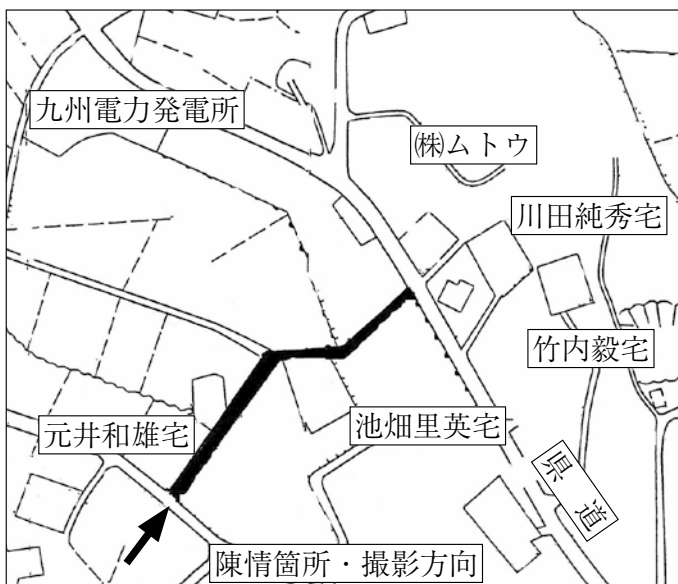
全と利便性の確保、農
業生産性の向上を図る
ため早急に整備すべき
であると決定。

◎地球温暖化対策に関
する「地方財源を確保・
充実する仕組み」の構
築を求める

陳情者
全国森林環境税創設促
進議員連盟
会長 板垣 一徳

採択理由

「地方財源を確保・
充実する仕組み」の
構築を求めるもの
で、本町において
は、さんご礁の面積
を交付税算定の基準
とするよう求めた経
緯もあり、この趣旨
には賛同できること
から、採決の結果8
対1で採択された。



イヌパ線(仮称)の位置図と現況写真

決算・議案審議に おける主な質疑

総務課

問 Jアラート(注2)が作動しなかった理由

答 台風により物が当たり機器の破損が原因。

問 一部携帯メーカーの携帯電話が不通になっている。万全の対策がとれないか。

答 通信は重要で会社及び関係機関に今後も強く要望していく。

問 財政状況は。

答 赤字公債特例法案が可決されず、交付税の交付が遅れているが現在のところ支障はない。

問 消防通信のデジタル化はどうなっているか。

答 財源確保が問題、辺地債をすべて充てると他の事業がで

い。来年度予算には組んでいない。

問 奄美群島広域・ティダネシア基金は。

答 本町も基金を収めている。離島への恩恵がさらに充実するよう働きかけを強めたい。

問 庁舎建設の予定はあるのか。

答 与論町第二次振興計画の中で行う。

問 安全安心子宝事業の利用状況は。

答 モバイル(携帯端末機)は与論病院に2



携帯アンテナ基地局

台、保健センターに2台、名瀬徳洲会病院に3台設置している。保健センターは資格の問題があり利用されていない。

(注2) 全国瞬時警報システム

人工衛星や地上回線を通じて、国から地方自治体に緊急情報を伝える仕組み。
緊急地震速報、津波警報、武力攻撃や大規模テロなどの情報が対象。

税務課

問 固定資産税滞納への対策は。

答 差し押さえなどの手続きを取っている。

町民福祉課

問 生活保護者の増加が問題となっているが。

答 本町は1000人に対し16・9人で郡内では最も低い方である。

問 国民年金納付猶予者数は。

答 学生6人、30歳未満9人である。

問 保険税が高いとの声が多い。制度の説明不足、理解促進の必要がある。

答 一人当たり医療費は県下最低。理解を得よう対応したい。

環境課

問 清掃センター建替の予定は。

答 27年度の予定、およそ10億円以上必要、通常は設備耐用年数15年、現在29年以上経過している。

問 オニヒトデの発生が見受けられるが駆除対策は。

答 観光協会に委託している。

教育委員会

問 町営の教員住宅を被災者に開放できないか。

答 制度上の手続を終え、利用に向け準備を行っている。

問 砂美地来館の換気の善処を。

答 改善に向け取り組む。

問 地域女性団体への補助金は。

答 20万円と60周年記念で5万円。

問 県、町から補助金を受けている団体長に町営子供園長が兼務することに問題はないか。

答 法的な規制はない。要望 活動報告書を見れば分かるが、団体長の活動は片手間ではできない。保護者の立場では子供を安心して預けられるのか、問題があるので、善処を望む。

商工観光課

問 サザンクロスセンターの利用状況と、運営、展示のあり方、入館料等は。

答 入館料201万、委託料470万。

問 入館の実績を上げる必要がある。もっと

力を入れるべきだ。

答 関係者と展示の仕方について検討を行っている。

問 入修学旅行のアンケート調査の内容は。

答 アンケートでは宿泊施設の古い点のみが指摘されており、他のサービスについては良い評価を受けている。

建設課

問 産業・銀座通りの冠水対策は。

答 排水路内のがれき、堆積土砂の排出を行っている。

問 排水だけでなく道路の新設、整備による流域の面積拡大も要因として考えられる。道路行政の推進に際しこの点に配慮した設計等の検討を。

答 総合的な観点から検討していく。

問 上田線の整備はどこから始まっているのか。

答 裾分商店前から始まっている。



産業通りの冠水被害

産業振興課

問 農地の法面の崩落について苦情が多いが、何件あるか、苦情や要望者のリストはあるか。

答 リストはない。今後作成対応していく。

水道課

問 台風時でも10数年以上にわたって1日以上の断水はなかった。今回の断水の原因は。

答 電柱の倒壊により電源及び通信機器に支障が出たことと、配管の破損による漏水が原因である。

問 危機管理がおろそかになり、機器に頼って巡視がなされていないのではないのか。停電は仕方ないとしても、断水は絶対あってはならない。

答 今回の反省を踏まえて万全の体制を整えるべく、マニュアルの作成に取りかかる。



麦屋集配池（高千穂神社横にあるタンク）



那間集配池（与論高校東側高台にあるタンク）

*豆知識

与論町全域（古里地区を除く）に配水される水は那間集配池（タンク）にいったん貯められた後、茶花、立長及び麦屋配水地に送られる。麦屋配水地（タンク）から東区・西区・朝戸・城の各戸に配水される。与論島の水源地は全て古里地区にあり、ボーリング井戸は6箇所ある。

一般質問

6人の議員が登壇、町政を問う

危険な協定と言われているTPPへの対策は

町長 絶対反対の立場で対応していきたい。



喜山康三議員

TPP対策

喜山議員 TPPは国内の様々な産業をはじめ、医療、保健、福祉、運輸、通信など私たちの生活に多大な悪影響を及ぼす危険な協定と言われている。基本的な対策をどう考えるか。

町長 本町が被る打撃は大きいものがある。TPPへの参加は本町の存亡の危機に直結する大きな問題をはらんでいる。今後とも、TPP参加絶対反対の立

場で関係団体等とも密に連携を図りながら、対応していきたい。

未来志向の政策

喜山議員 産業振興策について具体的な対策をどう講じていく考えか。

町長 サトウキビについては、灌水施設の活用や作業受託組織の機能充実を図ること等がある。畜産については、粗飼料の単収向上、安定供給と低コスト化を図るため、コントラクター組織の育成、10産以上の高齢母牛の更新の促進を図る。

再生支援事業を活用し、新たな漁法の導入や高付加価値化のための鮮度維持やブランド魚の確立を検討する。

喜山議員 観光産業の振興について具体的な対策をどう講じていく考えか。

町長 美しい自然を守りながら、観光客のニーズに沿った形の小綺麗で効率的な施設運営を図るべく、引き続き検討を重ねていきたい。

子育て支援対策

喜山議員 県や国に働き掛けて、持続可能できめ細やかな子育て支援策を講じていく考えはないか。

町長 国や県への働き掛けを含めて、子育てのしやすい環境整備を図る。新たに具体的な提案等があれば、実施に向けてしっかりと検討したい。

喜山議員 仮称だが、診療科のない就学児への島外治療支援制度の創設及び病時・病後時保育の整備を要望する。



初めての里帰り！Q400機内にて

ガソリン税、揮発油税の軽減措置を

町長 国・県等に軽減措置を強く要望する。



高田豊繁議員

教育振興対策

高田議員 現在、大学生等に貸与している町育成奨学金月額3万円を増額し、安心して学業に専念できる環境づくりを支援する考えはないか。

町長 本町内に生活の本拠を有する者の子弟で経済的理由で修学・進学が困難な高校生に月額1万5000円、専門学生・短大生・大学生等に月額3万円を貸与している。

高田議員 連日、新聞テレビ、インターネット上で小・中学生のいじめ事件が相次ぎ、国民は等しく胸を痛めて

いるところであるが、本町における今後の対策をどう考えているか。

町長 小・中学校のいじめ対策として、「いじめの問題に係る緊急調査」のアンケートを各学校で実施している。

いじめはいつでもどこでも起こり得るものであり、早急に解決に向けて対策を講じなければならぬという危機意識のもと、警察等を含め各関係機関とも十分連携を図りながら取り組んでいきたい。

高田議員 青年団活動は地域の活性化に貢献するとともに、若い男女の出会い・婚活及び異年齢交流を促進するメリットがあることから、その活動を積極的に支援していく考えはないか。

町長 青年団活動の活

性化が、地域の活性化につながることは十分認識している。

青年期にいろいろな人たちとの交流を図り、仲間とともに地域に根差した活動を行い充実させることが、夢と希望を与えることにつながると思う。

若者定住促進対策

高田議員 近年の少子高齢対策、人口減対策、結婚促進対策の一環として、また、Uターンした若者の定住化を促進するため、住宅情報の提供、就業支援、結婚相談等を総合的に所管・支援する部署を設置する考えはないか。

町長 Uターンした若者の定住促進のうち就業支援については、誘致企業で多くの若者が希望を抱いて頑張っている。住宅情報等の提供については民間の不

動産業者を紹介しており、人口増対策については、喫緊の課題でもあることから、ご提案の件も含めて鋭意検討していきたい。



タンカーから貯留タンクへのガソリンの移送作業

燃料税の軽減対策

高田議員 ガソリンや軽油の高騰は、町民生活や農業振興の圧迫要因となっている。今後国・県に対して、離島のガソリン税、揮発油税の軽減措置を強く求めていく考えはないか。

町長 今後、あらゆる機会を通し、国・県等に軽減措置を強く要望していきたい。

民宿改装費用の超低金利貸付制度を

町長 多方面からの支援を検討したい。

観光振興策



町 俊策議員

町議員 民宿の改装を促進する観点から、改装費用の一定額を超低金利で貸し付け、長期での返済が可能な制度としてつくり、活用してもらおう考えはないか。

町長 奄美群島振興開発基金の借入返済の焦げ付きや固定資産税滞納などの課題も山積している。

財政的にも厳しい状況にあり、直接町単独での支援策を講じる予定はない。他方面からの支援を検討しながら推進していきたい。

町議員 食の魅力を発信して誘客増を図るため、超有名人の監修による料理や弁当づくりを指導し、考案していく取組を支援する考えはないか。

町長 これまでに、日本シェフ協会からの派遣講師や、九州観光連盟総会の中で沖縄の健康長寿食についての講師、さらには、日本味育協会及び鹿児島県特産品開発に直接携わっている味香戦略研究所の先生等にも来てもらった。

地場産の食材を活用した郷土料理教室の講習会に参加させ、意識の高揚に努めている。

町議員 食の提供を通じて島の食材を島外へPRする観点から、食材はできるだけ島内産を利用することで、その宣伝・生産促進を図る考えはないか。

町長 地元食材を活用した郷土料理の提供や新メニューの定着を図っている。各宿泊施設や飲食店等において地場産食材を使用するよう理解と協力を求めている。

町議員 観光をオールシーズン化する施策の必要性が痛感される。

ヨロンパナウル王国立「海・華族学院」(仮称)を設立し、気象学基礎講座、ウインドサーフィン又はヨットの操法講座、小型船舶操縦士国家試験取得講座、スキューバダイビングの資格取得講座などを開設して、修了者には「ヨロンパナウル王国海・華族」の称号を与える考えはないか。

町長 トップシーズンの入込が落ち込んでいる。観光ブームの時と比べ、飛行機の利用客

は1万人の減、船の利用客は9万人の減となっているので船を利用した旅行の提案が不可欠と思われる。

今後は、ピンポイント営業戦略を唱え、時期や、ターゲットを絞って、民間企業と連携した施策を展開していく。



体験型観光のエース 「スキューバダイビング」

担い手作業の受託集積対策は

町長 計画を盛り込み集積拡大を図る。



林 敏治議員

農業振興対策

林議員 農地の流動化や有効活用のため、認定農業者等の担い手に作業受託の集積を図っていく必要があるが、今後どのような対策を講じていく考えであるか。

町長 借り手の希望が多いのに比べ、農地の出し手が少なく面積拡大は難しい状況にある。担い手の所得確保は作業の受託集積が重要である。

今後、人・農地プラン、においても作業受託の集積計画を盛り込み、担い手への作業委託の集積・拡大を図っていききたい。

林議員 特産品やブランド品の開発を推進していく必要性が痛感されるが、今後どのような対策を講じていく考えか。

町長 農薬や化学肥料を減らした特別栽培も含めた栽培技術の確立を図りながら、これまで農林水産物認証制度（K-GAP）等の各種認証取得の推進と販路開拓に対する積極的な支援を検討していく。

観光振興対策

林議員 少子高齢化や人口減少に対応した与論独自の観光地づくりが必要であると痛感するが、町長はどのように考えているか。

町長 青年団活動の活性化をバックアップすることにより人材育成に努め、子どもから老年寄りまで島民一体と

なった意識改革・連携を図る。

与論の自然、農業、水産業、伝統文化などを活用した自然体験型観光地づくりを目指す。

林議員 島の多様な魅力を生かした沖縄とは異なる与論独自の観光メニユーとしては、どのようなものがあるか。

町長 国指定重要無形民俗文化財の与論十五夜踊りの鑑賞をメニユーとした商品開発ができればと考えている。

林議員 これまでに実施した誘客宣伝イベントの効果をもとに認識し、その成果も踏まえた上で、どのような島づくりを進めていく考えか。

町長 年間を通した観光メニユーの開発、観

防災対策

林議員 台風時に防災

光施設の充実、自然環境の保護に努め、海岸の美化や路傍の植栽を推進し、鹿児島県「最南端与論島」から全国に向けて、豊かな自然や文化の情報を発信する島づくりを目指す。

行政無線の個別受信機による重要情報を受信できない地域があるが、早急な改善のための対策をどう講じていく考えであるか。

アテモヤ（ユンヌ楽園）



安心・安全な防災の島づくりを

町長 防災計画の見直し、防災マップ作成等を進める。

防災の島づくり



麓 才良議員

麓議員 台風16号がもたらした被害状況をどのように分類・分析し、その復旧対策をどのように計画し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。

町長 復旧対策については関係各課で検討しているところである。特に被害の大きいハキビナ海岸一帯については、国・県等とも連携を図りながら検討していく必要がある。

災害救助法及び被災者生活再建支援法にどのような支援措置があるか、支援のマニユアルを関係各課で検討しているところである。

麓議員 今回の台風はもとより、東日本大震災の教訓を受けて防災に対する町民等の関心が大変高まっている。

安心・安全な防災の島づくりを島ぐるみで検討していくことが望まれるが、その方策をどう考えているか。

町長 今後このような大型台風の襲来が予想される。現在、地域防災計画の見直し、茶花集落を除く全集落の標高表示版の設置及び防災マップの作成を進めている。

文化と観光のまち興し

麓議員 島の活性化の鍵の一つは、交流人口を拡大することであり、与論の海をメインとしながらも、島の風土、祭り、地質、地形等を整え、観光と結びつけたまち興し、交流人口の拡大が望まれる

が、その対策をどう考えているか。

町長 観光の目玉である海の再生には、より専門的な知識と町民一人一人の意識改革、各種関係機関との連携・協力が必要不可欠である。

失うことは容易だが一度喪失したものの再生にはその数十倍の年

月と労力、さらには多額の経費を要することから、十分に検討を重ねながら取り組んでいきたい。

麓議員 一つの例として、与論献奉をオンラインワン在目玉づくりに活用する考えはないか。

町長 与論献奉は与論

島ならではの飲み方であり、正しくオンラインワンである。地場産業の育成面からも観光の島としてのイメージアップにつなげていくよう節度の必要性も感じている。



十五夜踊りの「嶋中安穏」旗

コンクリート造り家屋の固定資産税引き下げ特区化を

町長 特区制度と併せて検討したい。



供利泰伸議員

災害に強い家造り

供利議員 台風常襲地帯である本町においては、暴風雨に耐えられる安心・安全な家造りの必要性が痛感される。本町を、鉄筋コンクリート造り家屋に対する固定資産税率を引き下げることのできる特例地区にするよう県に働き掛け、その制度化を図り、災害に強い島づくりを進める考えはないか。

町長 今年は大型台風が2度も続けて襲来した。特に、16号は64・8メートル（消防分遣所での観測）とかつてない最大瞬間風速を記録し本町に甚大な被害

をもたらした。このような被害状況を目の当たりにして、安心・安全な家造りが必要であるとの提言は誠意的を得たものと考えている。

鉄筋コンクリート造り家屋に対する固定資産税率の引き下げが可能かどうかについては、特区制度とも併せて検討したい。

供利議員 いざというときには避難場所の問題もある。例えば場所を砂美地来館だけに限定すると、風の向きによつては絶対避難できない人も出てくる。公民館などの公的な施設も避難場所確保しておく必要があると思うが。

町長 正にそのとおりで、まず避難場所の第1は砂美地来館、第2が防災センターと福祉センター、第3を茶花小の体育館に指定し

た。各自治公民館も検討したが、周りが全部窓ガラスで、雨戸がなく断念した。

また、台風の避難場所になっている公共施設は開閉時に変危険な目に遭っているの

災害救助法の適用

供利議員 今回の15号、16号の災害救助法の適用を受けて、九州

財務局鹿児島財務事務所も、各金融機関に対し町の被災者に金融上の措置を適切に講じるよう要請しているようだが、まずは被災された方々に災害救助法の詳しい説明と、どのような救済があるのかを徹底して知らせて欲しいが。

町長 文章できちんとしたかたちで全戸に配り、放送等でも連絡をしていきたい。私は知らなかったという言葉

が出ては、大変なことになるのでその辺は徹底するように指示をしている。

供利議員 災害に強い島づくりは町だけでできる問題ではない。できないところを国や県にお願いしてぜひとも災害に強い島、防災機能の高い島がつけられたらと思っているが。

町長 頑張っている。と考えている。



高波に襲われたハキビナ墓地

徳田毅衆議院議員 台風被害調査に急ぎよ来島



台風被害調査を行う徳田代議士（中央）



意見交換会に臨む永田県議（左側）と禧久県議（右側）



与論港、供利湾の被災状況の調査

徳田毅衆議院議員が10月7日台風被害調査のため急ぎよ専用機で来島した。全議員、町長及び関係課長が被災箇所を案内し、被害状況を説明した。

特に、海浜地区の災害が度々発生していることから、事業や工法の在り方について、抜本的に検討の余地があるとの要望も伝えられた。

また、奄美の豊かな自然環境の保全に留意した事業を導入する必要があるとの要望も併せて出された。

10月5日永田けんたろう・禧久伸一郎両県議員が台風被災調査に急ぎよ来島した。空港到着後、町議員団、町長及び関係課長等が同行して、被災箇所を案内し説明を行った。

その後、役場会議室において、今後の復旧対策について意見交換や要望等を行った。

**永田けんたろう・禧久伸一郎県議
台風被害調査に急ぎよ来島！**



台風被災による廃材・がれきの山

わたしもひとこと



大原利一 氏

プロフィール

○氏名 大原利一
○住所 与論町那間
○職業 農業
○役職 古里自治公民館長

今回のような台風が来れば農業、水産業だけでなく、観光業や全ての方面に多大な影響を与え町民が暮らしにくい島になってしまふ。

町民が丸となって「人と自然が輝くオンリーワンの島づくり」を目指すのであれば、私たち一人一人が一体となって全産業を含ん

だ総合支援体制がとれないものだろうか。

また、少子高齢化や人口減少、障がい者、生活弱者の方々も考慮に入れ、全ての人々が一体となった島づくりを検討していくことが望まれてやまない。

本町の財源は限られていて、全ての分野に満足できる予算配分ができるわけではないことから、縦割りにならないよう機能を發揮して、より良い町政運営を願いたい。

町民生活に直結した町政となるよう、「共に創ろう未来への架け橋」を基本理念とする第5次町総合振興計画



コースタルリゾート 被害の様子

が町民の理解と参加・協力の下、着実に実現されることを強く望むものである。



砂美地来館避難所の様子



砂に埋もれた茶花海岸通り(墓地下)

◎議会だよりの「表紙写真」・「わたしもひとこと」欄の公募について

議会だよりは、3・6・9・12月定例議会後に、年4回発行します。それに併せて、「表紙写真」及び「わたしもひとこと」欄への写真・原稿を募ります。詳細については議会事務局まで。

◎議会について知りたいこと、疑問に思っていることなどの声もお届け下さい。

★編集後記★

引き続きいた台風で被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げる次第である。

この度の町議選は、一週間も延びる異例の選挙戦であった。定例会、台風災害調査、鹿児島での広報研修会等に出席した。新メンバーでの議会だよりの発行・編集作業には苦心さんたんしたが、何とかまとめることができた。

新年度からは新企画も折り込みながら、新たな議会だよりの発行をと意気込んでいるが、はてさて、どこまで何ができるか。

議会を少しでも身近に感じていただけるよう、住民と議会のメッセージジャーとして、更に内容を高めていきたいと考えているので、御意見・御要望を多数寄せていただきたい。町議会広報常任委員一同